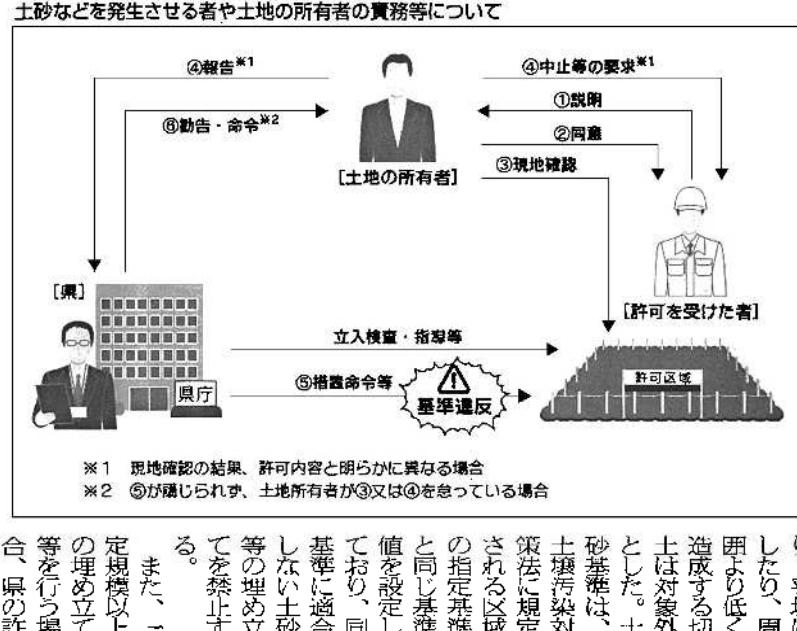


三重県

## 土砂等の埋め立てを規制

4月1日に条例を施行

三重県は4月1日、「三重県土砂等の埋立て等の規制に関する条例」を施行した。主な規制内容は、土砂基準に適合しない土砂等による埋め立て等を禁止し、3,000平方㍍以上がつ高さが1㍍を超える(一定規模以上の)落・飛散または流出による災害の未然防止、生活環境の保全に資することを目的として、行うのに許可が必要とした。県や埋め立てを行う者、排出者、埋め立てる者、対象となる土砂等の所有者の責務を明らかにし、必要な規制を行うことによって適正化を図り、土砂などの崩壊による「堆積(一時保管含む)」を指す。土地を削り取



土壤汚染対策法に規定される区域の指定基準と同様の基準値を設定しており、同様に適合しない土砂等の埋め立てを禁止する。  
また、一定規模以上の埋め立て等を行う場合、県の許

可が必要となる。申請から完了までの流れは、事業計画を周知するため、許可申請の30日前までに周辺地域の住民向けに説明会を実施後、図面や土地所有者の同意書、住民の意見書などを添付した申請書を提出。欠格要件に該当しないことや災害防止の措置を講じて第33条または砂利採取法第16条の規定により法第16条の規定により準を満たせば搬入が可能で、搬入開始前の報告や経過、完了時の水質調査や土壤調査をもつて完了（廃止）となる。

許可の適用除外となる常災害のために必要な砂等の埋め立て等々非るケースは、▽事業区

砂等の埋め立て等▽その他規則で定める砂利等の埋め立て等――となるため、許可申請の30日前までに周辺地域の住民向けに説明会を実施後、図面や土地所有者の同意書、住民の意見書などを添付した申請書を提出。欠格要件に該当しないことや災害防止の措置を講じて第33条または砂利採取法第16条の規定により法第16条の規定により准を満たせば搬入が可能で、搬入開始前の報告や経過、完了時の水質調査や土壤調査をもつて完了（廃止）となる。

県は、建設工事の発注者または請負人、土地の所有者が責務・義務を怠った場合、必要な措置を行なうよう勧告や命令を実施する。また、「命令違反、無許可、搬入禁止命令違反」の届出義務違反などの罰則は、最大で2年以下の懲役または100万円以下以下の罰金などの刑罰が科せられることがある」とした。